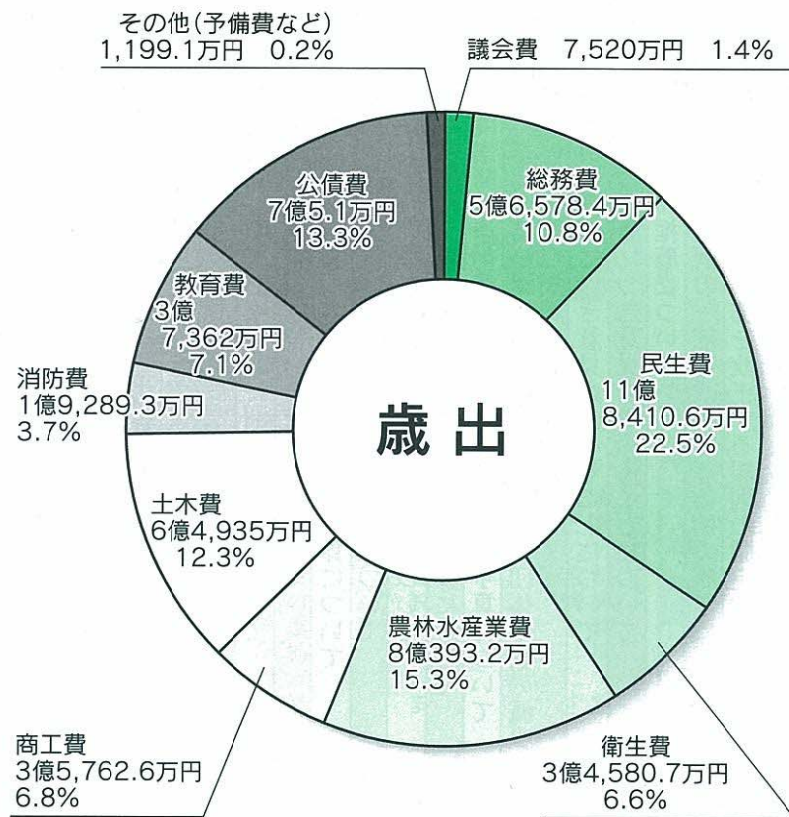


平成19年度 まちの予算

【一般会計 総額52億6,036万円】

歳出

平成19年度の主な事業は、住民の皆さんに関わりの深い道路整備、公営住宅建替えおよび改善、防火水槽建設など消防施設整備等を行います。厳しい財政状況ではありますが、南関町総合振興計画の趣旨を踏まえ、経費の節減合理化のため事務事業の徹底した見直しや各種事業の優先順位を決め、諸施策の推進を図っていきます。



歳出予算の主な事業

総務費

坂下収容局ADSL設備整備助成金 ……1,228.5万円

民生費

保育所費 ……2億1,084.7万円

衛生費

健康診査委託料 ……3,775.1万円

農林水産費

県営土地改良事業費負担金 ……1,400万円

林道改良工事 ……1,988万円

新幹線湯水対策受託事業費 ……5億2,752.6万円

商工費

東部工業団地給水設備整備工事 ……1億4,973万円

土木費

道路新設改良(工事費・用地補償費等) ……2億1,620万円

公営住宅建設(大津山団地建替・高久野団地改善) ……1億4,400万円

消防費

有明広域行政事務組合消防費負担金 ……1億1,753.4万円

防火水槽建設工事 ……1,480万円

教育費

小学校校内LAN配線工事 ……689万円

算

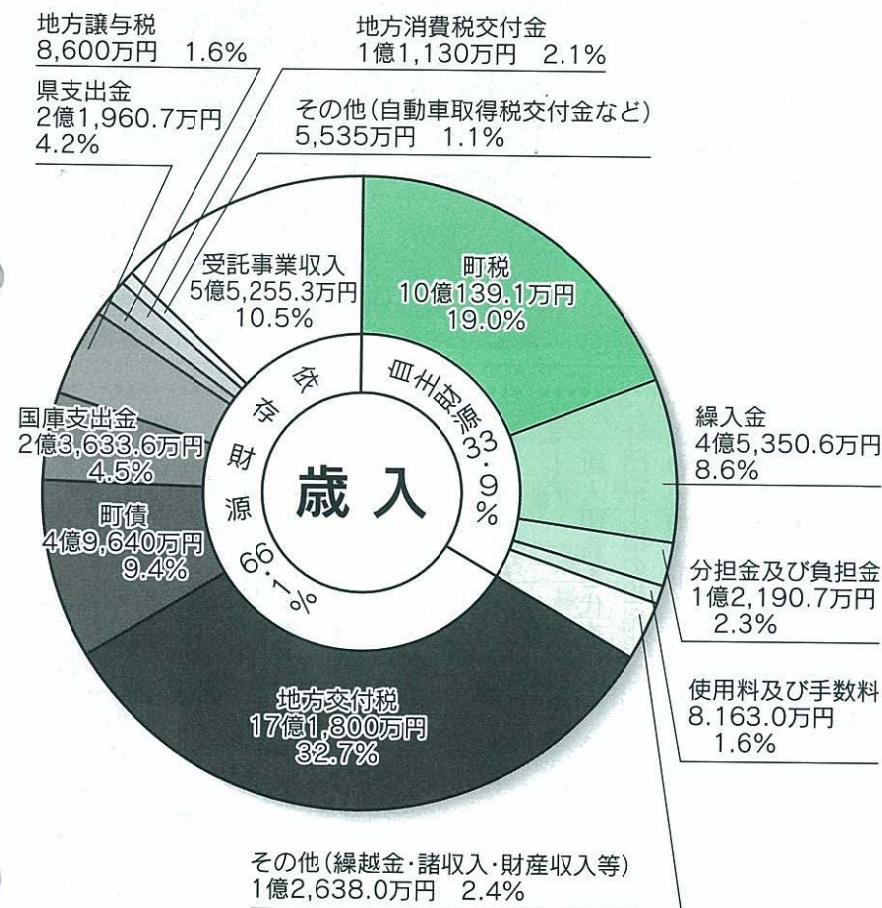
3月定例議会で、平成19年度一般会計予算並びに特別会計予算が審議され、一般会計予算総額は52億6,036万円に決まりました。これは、前年度の38億6,680万円と比べ26.5%の増となっています。平成18年度は、町長改選期のため義務的経費を中心とした必要最小限の骨格予算を編成したため大幅な伸びとなっています。また、新幹線湯水対策受託事業費5億5,210万円を計上したことも増額の大きな要因となっています。

義務的経費(※1)…歳出から支出を義務付けられ、任意に節減できない経費
骨子予算(※2)…政策的経費等の予算計上を避け、人件費等必要最小限度の経費を計上する予算編成のこと

歳入

予算総額のうち、町税や分担金及び負担金などの自主財源は、17億8,481万円です。これは国が行った三位一体の改革で、国から地方に税源移譲されたためです。また繰入金も増加しています。

一方、依存財源は、34億7,555万円です。主なものは、地方交付税17億1,800万円、町債4億9,640万円、新幹線湯水対策受託事業収入5億5,210万円などとなっています。



特別会計予算

国民健康保険事業	14億6,747万円
老人保健事業	17億9,316万円
公共下水道事業	2億5,454万円
簡易水道事業	557万円
介護保険事業	10億3,560万円
介護サービス事業	1億9,851万円
浄化槽整備推進事業	8,974万円

年度別当初予算比較

